

第4回 日仏自治体交流会議に出席 (香川県高松市開催)



第3回(2012年8月開催) フランス・シャルトル市での開催風景

平成26年10月17日

日仏自治体交流会議の概要

- ▶ 日仏交流150周年を記念して、姉妹都市であるフランスのナンシー市及び金沢市の呼びかけにより発足
- ▶ 日仏両国の自治体関係者が一同に会し、各市が抱える共通課題の解決に向けて、議論することを目的に開催

回数	開催年度	開催地
第1回会議	2008年	フランス・ナンシー市
第2回会議	2010年	日本・金沢市
第3回会議	2012年	フランス・シャルトル市

第4回会議の概要

事業主体

第4回日仏自治体交流協会推進委員会
事務局：(財)自治体国際化協会(CLAIR)

開催日時

平成26年10月28日(火)～30日(木)

開催場所

香川県高松市（かがわ国際会議場ほか）

主な出席者 (9/26現在)

日本側	30自治体	約95名	
フランス側	21自治体	約70名	
日仏両国政府関係者		約25名	計約190名

第4回会議のプログラム

日時		内容	会場
10月28日(火)	19:00～	歓迎式典・レセプション	
10月29日(水)	9:30～	開会式(発言者:日仏推進委員長、来賓)	かがわ国際会議場
	10:00～	全体会 基調講演:公益財団法人福武財団 理事長 福武總一郎氏 基調発表:フランス側 2自治体、日本側2自治体	
	15:00～	分科会(産業、文化、都市開発のテーマに分かれて議論)	サンポートホール高松
10月30日(木)	9:30～	全体会(分科会報告、最終宣言、日仏交流優良賞授与)	かがわ国際会議場
	12:00～	閉会式(発言者:日仏推進委員長、次期開催地自治体)	

第4回会議のテーマ

テーマ

グローバル時代において、地域経済の活性化を図るために自治体は何をなすべきか

第1分科会:産業

農業、工業、商業、観光など産業分野全般における活性化への取り組み

第2分科会:文化

文化や人的交流を通じた地域経済活性化への取り組み

第3分科会:都市開発

都市交通、環境、エネルギーなど都市の持続可能な開発への取り組み

「津市の海外連携事業」を発表してほしいとの参加要請

津市長がスピーカーとして出席し、
第1分科会の「産業」について発表

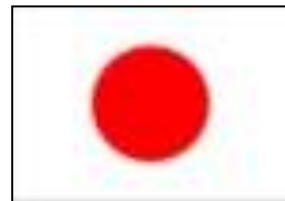
津市発“地域経済外交”の取り組み①



平成24年11月20日
フランスのパリ地域経済開発局
(ARD)と産業協力協定を締結



津市海外連携コーディネーターの設置



企画力と技術力の高い
欧州企業との連携により
イノベーションを誘発！



平成25年4月13日
クリスチャン・マセ駐日フランス
大使が来津し、地域相互の経
済交流の促進について対談



2012年度津市欧州ミッション団の派遣

①個々の企業による国際間連携を支援

②中小企業連携(クラスター)による国際間連携を支援

津市発“地域経済外交”の取り組み②

① 日仏コラボレーション事業



津市内企業とフランス企業により
医療関連器具の新製品を共同開発



両社の協力により、
世界へ販路拡大！

② 企業誘致トップセールス



2011年9月8日 立地協定調印式
マグ・イゾベル株式会社
(フランス・サンゴバングループ)



津市内への新工場進出が決定！

MAG
ISOVER SAINT-GOBAIN



同社製品

秋の中心市街地活性化事業



平成26年10月17日

平成26年度 中心市街地活性化事業

中心市街地にぎわい 創出事業

津市の歴史・文化などを
テーマとしたセミナーのほか、
スタンプラリーなどのイベント
を開催

コミュニティづくり
タスクフォース

学生による学生のための情報誌
を発行し、学生を中心とした若年
層に対する中心市街地への来街
を促す

学生による情報 発信事業

事業費
100万円

子どもを中心とした集客を図る
遊び場をトライアルとして
商店街に設置

津市の魅力を
ひきだす
タスクフォース

情報共有、連携
(全体会議の実施)

中心市街地活性化 タスクフォース事業

企画検討、実践実施
(実働部隊)

学生情報誌
タスクフォース

大門いこにこ広場 運営事業

にぎわい
スポット創出
タスクフォース

中心市街地
来街 感謝券

中心市街地
ウォーク事業

伊勢の帰りに
松阪牛ツアー
タスクフォース

中心市街地の商店街や名所・旧跡等津の魅
力を旅雑誌やホームページ等により広く発信
するとともに、空き店舗などを活用し、学生
等によるチャレンジショップ等を実施する

商店街魅力発信 学生連携活性化事業

学生による情報発信事業

TGJ(津学生情報室)

平成25度の中心市街地活性化タスクフォースの中で、三重大学の学生を中心に情報誌の発行について検討を重ね、他のメディアでは拾いきれない、学生のニーズを的確に反映させた、「学生による学生のための」冊子の発行を目指すこととなり、三重大学地域戦略センター、株式会社まちづくり津夢時風、津市が連携し、津市の委託事業として実施します。

11月1日・2日の三重大学学園祭から販売を開始するものとし、現在、学生による最終校正が行われています。

TGJ(津学生情報室)



100円／冊
3,000部発行



平成26年度 中心市街地活性化事業

中心市街地にぎわい 創出事業

津市の歴史・文化などを
テーマとしたセミナーのほか、
スタンプラリーなどのイベント
を開催

コミュニティづくり
タスクフォース

学生による学生のための情報誌
を発行し、学生を中心とした若年
層に対する中心市街地への来街
を促す

学生による情報 発信事業

子どもを中心とした集客を図る
遊び場をトライアルとして
商店街に設置

津市の魅力を
ひきだす
タスクフォース

情報共有、連携
(全体会議の実施)

中心市街地活性化 タスクフォース事業

企画検討、実践実施
(実働部隊)

学生情報誌
タスクフォース

大門いここ広場 運営事業

にぎわい
スポット創出
タスクフォース

中心市街地
来街 感謝券

中心市街地
ウォーク事業

伊勢の帰りに
松阪牛ツアー
タスクフォース

中心市街地の商店街や名所・旧跡等津の魅
力を旅雑誌やホームページ等により広く発信
するとともに、空き店舗などを活用し、学生
等によるチャレンジショップ等を実施する

商店街魅力発信 学生連携活性化事業

事業費
180万円

平成26年度 中心市街地活性化事業

事業費 250万円

中心市街地にぎわい 創出事業

津市の歴史・文化などを
テーマとしたセミナーのほか、
スタンプラリーなどのイベントを開催

コミュニティづくり
タスクフォース

学生による学生のための情報誌
を発行し、学生を中心とした若年
層に対する中心市街地への来街
を促す

学生による情報 発信事業

学生情報誌
タスクフォース

子どもを中心とした集客を図る
遊び場をトライアルとして
商店街に設置

津市の魅力を
ひきだす
タスクフォース

情報共有、連携
(全体会議の実施)

中心市街地活性化 タスクフォース事業

企画検討、実践実施
(実働部隊)

大門いこにこ広場 運営事業

にぎわい
スポット創出
タスクフォース

中心市街地
来街 感謝券

中心市街地
ウォーク事業

伊勢の帰りに
松阪牛ツアー
タスクフォース

中心市街地の商店街や名所・旧跡等津の魅
力を旅雑誌やホームページ等により広く発信
するとともに、空き店舗などを活用し、学生
等によるチャレンジショップ等を実施する

商店街魅力発信 学生連携活性化事業

秋の中心市街地活性化連携事業連携イメージ

津センターパレス

- ・“伊勢神宮のいろは”から「神楽と雅楽の巻」「神宮の建築様式の巻」
- ・「お伊勢さんへの道～常夜燈と道標～」
- ・「三重県高校写真連盟」写真展
- ・ハロウィン・パーティー

遊覧スタンプラリーで
中心市街地を回遊

中心市街地
来街 感謝券

中心市街地
ウォーク事業

中心市街地にぎわい創出事業
秋の中心市街地
活性化連携事業

- ・“伊勢神宮のいろは”から「神宮の年間祭典と神饌の巻」
- ・第42回大北海道物産展
- ・津商デパート

丸之内商店街
津松菱

- ・津観音と伊勢神宮～藤堂家とその周辺～
- ・津の昭和博覧会
- ・津観音縁日餅まき祭
- ・ハロウィンかえっこバザール

大門大通り商店街
津観音

秋の中心市街地活性化連携事業イベント

中心市街地全域

- ・遊覧スタンプラリー(11月1日～30日)
- ・中心市街地ご来街感謝券(津センターパレス内公共施設、津観音、街の駅だいもん、大門いここ広場、松菱にて配付)
- ・津のまん中ウォーク(11月23日)
「秋の彩りと江姫・高虎さんゆかりの地ウォーク」
- ・有造館ゼミ・ウォーク“歴史散歩”(11月14日)

津観音

- ・津観音と伊勢神宮～藤堂家とその周辺～
(10月～11月30日)
- ・津観音縁日餅まき祭(11月18日)
- ・津の昭和博覧会(11月1日・2日)

大門大通り商店街

- ・FM三重タイアップイベント(12月7日)
- ・松阪肉が当たる！年末大売り出し(12月12日～23日)

大門いここ広場

- ・あそびのじかん
(11月4日・11日・18日・25日・27日)
- ・親子でよせ植え教室(10月25日)
- ・秋の園芸教室(10月25日)
- ・ハロウィンかえっこバザール(10月25日)

津センターパレス

- ・中心市街地活性化タスクフォース企画案発表会(12月4日)
- ・“伊勢神宮のいろは”から(11月1日～30日)
「神楽と雅楽の巻」「神宮の建築様式の巻」
- ・「お伊勢さんへの道～常夜燈と道標～」(11月1日～30日)
- ・「語りとハーブの調べ」(11月28日)
- ・「三重県高校写真連盟」写真展(11月1日～30日)
- ・ハロウィン・パーティー(10月25日)

津市まん中広場

- ・ひろばdeグルメ(11月23日)

秋の中心市街地活性化連携事業イベント

丸之内商店街 & フェニックス通り

- ・津商デパート(12月14日)
- ・第46回高虎楽座(11月3日)
- ・第9回農林水産まつり(11月3日)

津松菱

- ・“伊勢神宮のいろは”から「神宮の年間祭典と神饌の巻」(11月1日～30日)
- ・第42回大北海道物産展(11月12日～20日)

津新町通り商店街

- ・第35回新町フェスタ & 設立50周年記念イベント(11月23日)

津リージョンプラザ

- ・第11回「高虎の集い」(11月5日)

アスト津

- ・熊野比丘尼と熊野勸心十界曼荼羅(11月15日)

三重大学

- ・映画“WOOD JOB!(ウツジョブ!)”と三重大学演習林～御神木が三重大に来た!!～(11月10日～12月25日)



秋の中心市街地活性化連携事業マップ



津っのドまんなかバル

津っのドまんなかバル

三重県地方自治研究センターが津市の中心市街地である大門を舞台とした「まちなかバルイベント」をまちづくりの社会実験として開催することとなり、来年度以降の継続も鑑み「津っのドまんなかバル実行委員会」(構成:三重県地方自治研究センター、津市観光協会、津商工会議所、津市)を結成し、実施に向け活動

- ◆大門地区の約60店が参加
- ◆チケット価格
5枚綴り(前売3,000円、当日3,500円)
- ◆チケット販売箇所
津都ホテル、街の駅だいもん、津駅前観光案内所(アスト津1F)など



The poster features a large illustration of a sun and moon with faces, labeled '昼も' (Day) and '夜も' (Night). Below this, the text '大門探検' (Daimon Tansetsu) is written vertically. The event dates are '2014年 11/15(土)・22(土)' and the time is '12:00~24:00'. The title '第1回 津っのドまんなかバル' (1st Time Tsu no Domanaka Bar) is prominently displayed. At the bottom, there are icons representing various activities: a treasure chest, a compass, a map, a lighthouse, a bottle, and a telescope.

チケット(5枚綴り) 前売3,000円 当日3,500円 チケット売場 津駅前観光案内所(アスト津1F)、津都ホテルなど。
主催/津っのドまんなかバル実行委員会(構成/三重県地方自治研究センター、津市観光協会、津商工会議所、津市)
お問合せ/TEL059-227-3298(三重県地方自治研究センター)

津センターパレスに つまちなか保育園整備計画 ～中心市街地企業従業員の子育て支援～



平成26年10月17日

つまちなか保育園整備計画

平成26年10月17日付けで、株式会社津センターパレス
と社会福祉法人 洗心福祉会が津センターパレスへの入居
に関する協定を締結

**社会福祉法人 洗心福祉会は、津センターパレス内に
つまちなか保育園(事業所内保育事業)の整備を計画**

今後、社会福祉法人 洗心福祉会から津市へ認可申請を提出

津市は所定の手続きを進めます

変わりゆく中心市街地

平成24年

津市まん中老人
福祉センター
(平成24年11月)

津市まん中
こども館
(平成25年7月)

津市障がい者
相談支援センター
(平成24年11月)

津市中央公民館
(平成25年9月)

公共施設の老朽化に伴い
機能に移転し集約

平成25年

岡三証券グループ
津ビル・津支店
(平成25年9月)



民間ビルの建替、移転、進出により、
オフィスビル化が進行

平成26～27年

百五銀行
本部棟
(平成27年9月予定)

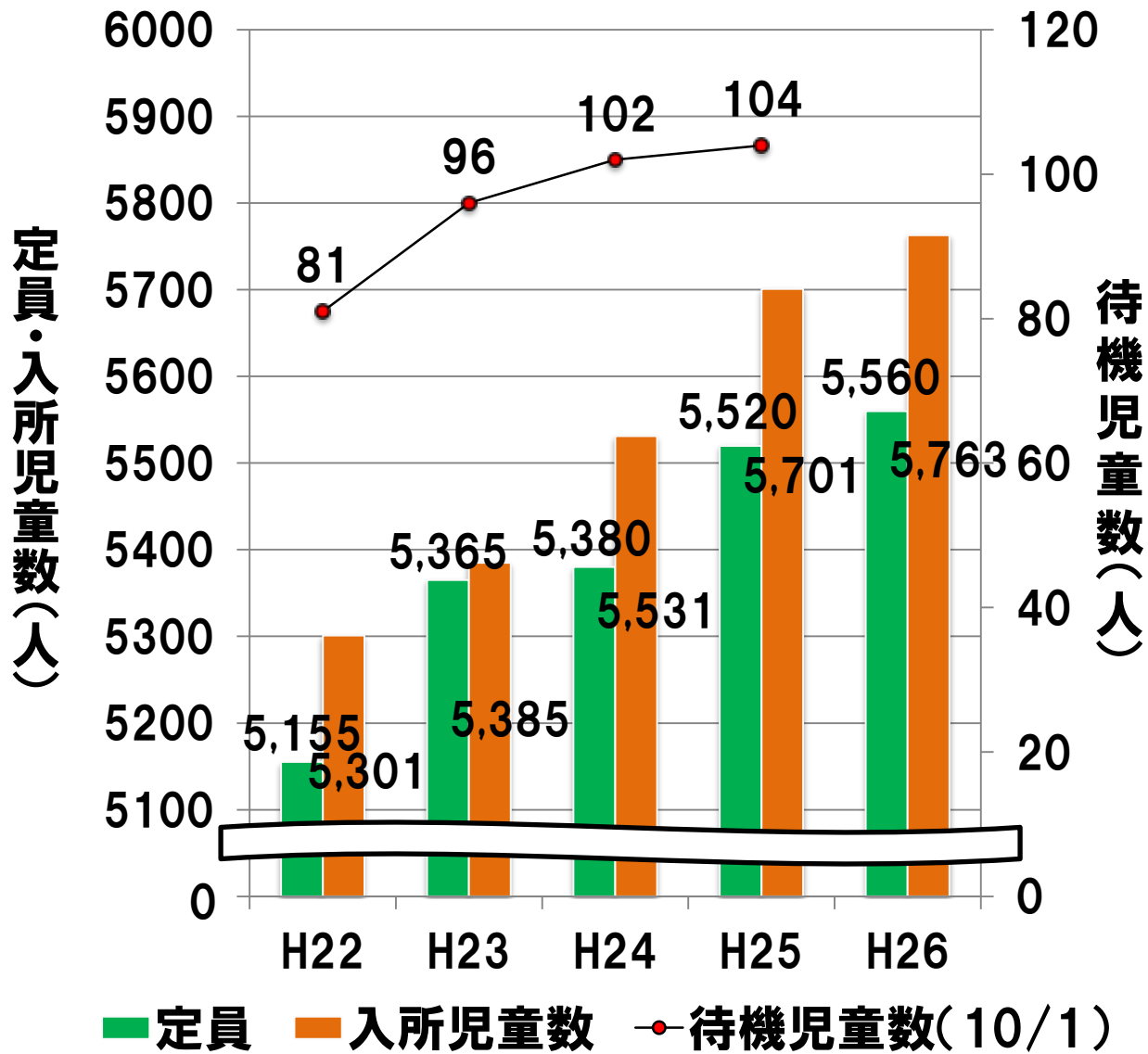


新たな人
の流れへ

かつて、**買い物客層**で賑わった中心市街地から、公共施設の機能移転(福祉・生涯学習)による**利用者層**と、オフィスビルの進出による**ビジネス層**が集う中心市街地へ

待機児童の現状

保育所定員と入所児童数



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
民間 保育所 整備件数	新設2	増改築1	新設1 増改築2	増改築3	新設1
定員 (4/1)	5,155人	5,365人	5,380人	5,520人	5,560人
対前年度 比定員 増加数	10人	210人	15人	140人	40人
待機児童 数	4/1	0人	0人	0人	0人
	10/1	81人	96人	102人	104人
					集計中

民間保育所の施設整備等により
定員を拡大

就労環境と保育ニーズ

法制度の整備

昭和60年

男女雇用
機会均等法
制定

平成3年

育児休業法
制定

平成5年

育児・介護休業法
制定

雇用環境の変化

- ・核家族化の進行
- ・経済不況により、夫婦共働きが増加
- ・育児休業制度の普及による就労環境の変化

保育所に対するニーズの変化

かつて

就労支援

現在

就労支援
（低年齢児からの利用が増加）
勤務形態の多様化
（延長保育の利用が増加）

保育ニーズの変化

- ・育休復帰により、0～2歳児の保育所利用が増加
- ・フレックスタイム制の普及や仕事の延長

子ども・子育て支援新制度のスタート

国の計画

平成24年8月

子ども・子育て
関連3法制定

平成27年4月～

子ども・子育て支援新制度
(子ども・子育て支援法)
実施

少子化対策

- ・消費税率が10%に上げられた場合、0.7兆円程度を子ども・子育て支援に充当
- ・待機児童対策を講じることで、少子化に歯止めをかける

市の計画

平成25年12月

津市子ども・
子育て会議
設置

平成27年3月

津市子ども・子
育て支援事業
計画策定

平成27年4月～
平成32年3月

津市子ども・子
育て支援事業
計画の取組み
実行

子ども・子育て支援

- ・**地域型保育事業**を市の認可事業として、開始
- ・認可基準条例が平成26年9月議会で議決

地域型保育事業

区分	認可・ 所管	施設・種類
教育・ 保育 施設	三重県	認定こども園 (幼保連携型)
		幼稚園
		保育所
地域型 保育 事業	津市	家庭的保育
		小規模保育
		居宅訪問型保育
		事業所内保育

地域型保育事業(市の認可事業)				
少人数で、0～2歳の子どもを預かる事業				
種類		利用定員	保育をする人	特長
家庭的保育		5人以下	家庭的保育者、家庭的保育補助者保育士	保育所よりも小規模 または家庭的な環境 で保育を行う
小規模 保育	A型	6～19人	保育士	
	B型		保育士、研修を受けた者	
	C型	6～10人	家庭的保育者	
居宅訪問型保育		1人	家庭的保育者	障がい等により、 個別のケアが必要な 場合等に保護者の 自宅で保育を行う
事業所内保育		19人以下	小規模保育A型・B型の 基準と同様	事業所の保育施設 で従業員の子ども と地域の子どもを 一緒に保育する
		20人以上	保育所の基準と同様	

※地域型保育事業としての認可を受けようとする事業所内保育事業は、従業員のほか**地域の子どもの受入枠**の設定が必要

社会福祉法人 洗心福祉会プロフィール

法人認可

昭和53年10月

理事長

山田 俊郎

職員数

1,067名(平成26年10月時点)

事業内容

児童福祉

津市
松阪市・志摩市
【6つの保育園】
【児童クラブ】
【子育て支援
センター】

高齢者福祉

津市
鈴鹿市・伊賀市
伊勢市・志摩市
【老人福祉事業65
事業】

障がい者福祉

津市
鈴鹿市
伊賀市
【障がい福祉
事業16事業】

医療

津市
【診療所】
【鍼灸院】

津市での保育・児童分野の実績

年月	認可・開設等
昭和54年4月	豊野保育園認可開設
平成12年2月	津市女性子どもルーム事業の開始
平成12年4月	豊野保育園はなこま分園の開設
平成18年4月	はなこま保育園本園認可開設
平成22年7月	第二はなこま保育園認可開設
平成22年8月	はなこま放課後児童クラブ開設
平成22年9月	第二はなこま保育園にて地域子育て支援拠点事業を開始
平成27年4月	つまちなか保育園認可開設(予定)

つまちなか保育園を作る意図(経緯)

社会福祉法人 洗心福祉会の全職員の
女性と男性の割合 (法人組織の現状)

=

⑥ : 4

女性が多い職場

法人として大事な
従業員のために

- 職場復帰(育休)が遅れないようにする
- 子どもを産むことをためらわないように配慮する
- 今以上の女性のキャリアアップを図りたい
- 女性の輝く職場でありたい

事業所内保育所の整備を検討

子ども・子育て支援新制度実施
平成27年4月 施設開所

地域貢献

法人に勤める職員だけでなく、他の企業との協定を結び、さらに「**地域の子どもの受け入れ枠(地域枠)**」を設けることで、**子育て支援に貢献**

つまちなか保育園の概要①

つまちなか保育園の基本情報

定員	0歳児	15人	合計50人
	1歳児	17人	
	2歳児	18人	
開園時間	保育標準時間認定に係る時間		
	月曜日～土曜日 7:00～18:00		
	保育短時間認定に係る時間		
	月曜日～土曜日 8:30～16:30		
休園日	日曜日、祝祭日、年末年始、3月31日		
事業内容	一時保育・延長保育・障がい児保育		
申し込み方法	【地域枠】 津市に申し込み後、法人と直接契約		
	【従業員枠】 法人と直接契約		

つまちなか保育園の概要②

つまちなか保育園（子どもたちの1日）

津 セ ン タ ー パ レ ス 4 階	0歳児	1歳児	2歳児
	順次登園		
	おやつ	朝の体操・おやつ	
	好きな遊びをする		各クラスでの活動
	離乳食		
		給食	
	午睡		
			午睡
	おやつ		
	順次降園		
	延長保育		

入園受付・事業所内保育所の共同設置企業の募集

入園受付開始

平成26年11月4日から

説明会

**平成26年10月24日(金)10時～11時
社会福祉法人洗心福祉会 法人本部5階
(津市本町26番13号)**

同時募集

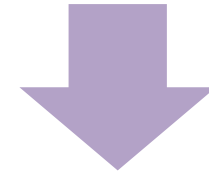
**つまちなか保育園
事業所内保育所共同設置企業**

**問い合わせ 社会福祉法人洗心福祉会 法人本部
本町総合事務所 保育・児童支援課 担当:西尾・古林
(津市本町26番13号、電話番号059-222-7600)**

事業所内保育所の整備に向けたスケジュール

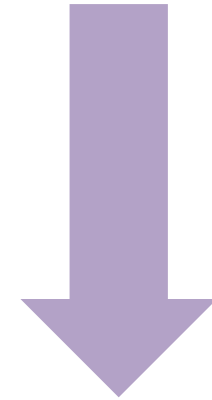
平成26年11月初旬

改修工事開始

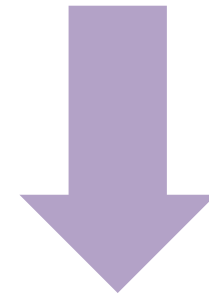


平成27年3月初旬

完成



津市に認可申請



平成27年4月1日

認可がなされれば、
つまちなか保育園を開園